



日本国憲法の草案を作成した鈴木安蔵(旧小高町出身)を描く

映画『日本の青空』制作協力券を購入してください!!

旧小高町出身の憲法学者で、現在の日本国憲法の草案を作成した鈴木安蔵を描く映画『日本の青空』が製作されることになりました。製作費調達のため、地元の「小高九条の会」「相馬九条の会」、そして私たち「はらまち九条の会」も、制作協力券(1枚1,000円)の購入で協力することにいたしました。「はらまち九条の会」としてはとりあえず、一口100枚・10万円を引き受けます。

<下記新聞コピー>のように8月2日午前、映画製作の大澤豊監督など関係者が、南相馬市役所に市長を表敬訪問し、市長さんも製作に協力することを約束しました。歴史的な地元の憲法学者ですから、南相馬市として製作に全面的に協力し、応分の経済的な支援をすべきであると考えます。野口英世の映画『遠き落日』では猪苗代町が、今年製作の『バルトの楽園』では会津若松市がどのような支援をされたのでしょうか。

映画 日本の青空

監督/大澤豊 企画・製作/小室昭亮 脚本/油田太郎

戦争放棄

日本国憲法 第九条  
日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。  
二前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

平和憲法をまもる映画作りを応援しよう!

この映画は、この制作協力券の普及によって作られます。

二〇〇六年秋撮影開始!

公開日程等はホームページでもお知らせします。  
<http://www.chono-ndes.co.jp/sozora/>

制作協力券 1,000円

全国どこの会場でも鑑賞いただけます。  
この券の鑑賞有効期限は2007年12月末日です。

映画『日本の青空』制作委員会

2006年(平成18年)8月4日(金曜日) 福島民友

南相馬 故鈴木氏(小高)主人公の映画製作 大沢監督ら市長表敬



台本を手にした渡辺市長と懇談する映画製作スタッフ

日本国憲法草案に影響を及ぼした憲法学者、故鈴木安蔵氏と逆にならなければならない

の「青空」が製作されることについて、大沢監督ら製作スタッフは二日、市役所に渡辺一成市長を表敬訪問した。市役所には大沢監督や小室昭亮製作委員長、神成文雄プロデューサーらが訪問。大沢監督が映画製作の経緯などを交えながら、来年三月に公開したいと思う。ご支援をお願いしたい」と話した。映画の台本を贈られた渡辺市長は「(映画などの)フィルムコミッションによるまちおこしを進めたくても思うようにできない中、(映画製作の)話を聞いたが、

製作に協力する考えを示した。鈴木氏は旧小高町(現同市小高区)で生まれ、旧制相馬中(現相馬高)を卒業。憲法制定を研究する憲法研究会の中心として、日本国憲法草案の参考とされた憲法草案要綱を作成した。映画は十一月から撮影を開始し、来年一月の完成を目指す。

この制作協力券で全国どこの会場でも「日本の青空」を鑑賞できます。  
○協力券は1枚1,000円ですが、「はらまち九条の会」では合計で500円を負担しますので、会員の場合は1枚500円で購入できます。  
○会員以外の方の方は、そのまま1,000円で購入してください。

事務局より 「原町飛行場跡を歩く会」「秋市になにかイベント」などの開催を

◆「はらまち九条の会」会員は、今日現在235名となりました。さらに新会員を募集し、また既会員の皆様には、恐れ入りますが、06年の年会費千円をお願いしたいと思います。♥「守れ!憲法九条」のシールはいかがでしょうか。周りの方々へも広めてください。町のあちこちで見たいものです。また映画『日本の青空』の制作協力券のご購入をよろしくお願いいたします。憲法九条のビデオも貸し出しますので、お気軽にお申し出ください。◆さらに今後どのような活動がよいのか?①原町市出身で日本初の神風特攻隊員中野健雄さんの跡と原町飛行場跡を歩く会を10月下旬に行おうか!②11月の原町市で九条の会の日にかグッズマーケット・イベントを開催しようか、という声も出ています。◆事務局には「現在の改憲に向かう不安な状況に、居ても立っても居られない」という切迫した声も届いています。私たちも全く同感です。また事務局は5名だけですが、一緒に活動できる方のお力をお貸しください。ご連絡を待っています。

# 旧小高町出身・憲法学者の故鈴木安蔵氏

## 主人公の映画製作へ

支援 目指し  
地元 懇談 会

日本国憲法の間接的起草者といわれる南相馬市小高区(旧小高町)出身の憲法学者、故鈴木安蔵氏を主人公にした映画「日本の青空」が製作される。支援のための懇談会が一日、同市小高区の小松屋旅館で開かれ、大沢監督らと今後の取り組みを話し合った。

「日本の青空」は製作委員会(東京都中央区)が十一月のクラウンインを旨指し、製作費二億円を募っている。大沢監督は目の不自由な女性の生きざまを描いた「アイ・ラブ・ユー」などのメガホンを取った。

大沢監督らを招いて支援策などを話し合った懇談会

地方でも撮影したい」と抱負を語った。神成文雄プロデューサー、企画・製作担当の小室皓充さんも同席した。

製作協力券(一枚千円)を発行し、百枚を一口に二千円を引き受けてもらう予定。早速、数口の協力申し出があった。

鈴木氏は民間人による「憲法研究会」の中心的メンバーで、同会が昭和二十年十二月二十六日に発表した憲法草案要綱はGHQ案の手下になったといわれている。

協力券などの問い合わせは製作委員会 電話03(3524)15665へ。



鈴木安蔵(すずき やすずき)に憲法研究会に参加、「憲法草案要綱」を起草。静岡大学文学部部長や愛知大、立正大の教授を歴任した。

平和を守る「映画づくり」にあなたのご協力をお願いします!

この映画は、製作協力券(1000円)1枚1枚の普及によって作られます!

### ストーリー

雑誌編集部勤める沙也可(22)は、特集企画の「日本国憲法誕生の原点を問う!」で、名も知らなかった在野の憲法学者・鈴木安蔵の取材を進めることになる。

一戦後まもなく、鈴木安蔵(41)を中心とした民間人(高野岩三郎、森戸辰男、室伏高信ら)による「憲法研究会」が作成した憲法草案が、実はGHQ案のお手本になっていたという事実。

鈴木安蔵の娘たちへの取材に成功した沙也可は、託された安蔵の当時の日記を手がかりに、日本国憲法誕生を巡る真実のドラマを明らかにしていく…。

### 憲法学者・鈴木安蔵 プロフィール

- 1904年 福島県小高町生まれ
- 京都帝国大学文学部哲学科に入学。その後経済学部転部。1926年の治安維持法違反第一号「学連事件」で検挙され自主退学。以後、憲法学、政治学の研究に従事。民衆の立場に立つ憲法学を確立。
- 1937年 衆議院憲政史編纂委員
- 1945年 「憲法研究会」案の「憲法草案要綱」を起草
- 1946年 憲法普及会理事
- 1952年～ 静岡大学、愛知大学、立正大学で教授
- 1983年 8月7日逝去(享年79歳)

日本国憲法公布 60周年記念

## 映画 日本の青空

監督 大澤 豊 脚本 池田太郎 企画・製作 小室皓充

いよいよ2006年・秋 撮影開始!

全国行脚をいとわぬ覚悟で臨みます!

監督 大澤 豊



憲法改悪に真っ向から反対する映画が、今回の作品です。私にとっては10年ぶりの反戦平和を希求する作品ですが、憲法という難しい素材をできる限り易しく、沢山の人たちが興味をもって観ていただける映画にしなければならぬと思っています。

### プロフィール

山本薩夫、勅使河原宏、黒澤明監督らの助監督を務め、1981年こぶしプロダクション代表(後藤俊夫監督、神山征二郎監督と設立)。

代表作品 「ガキ大将進行曲」、「GAMA-月桃の花」、「アイ・ラブ・ピース」など

お問い合わせ 映画「日本の青空」製作委員会

事務局 〒104-0045 東京都中央区築地2-10-4 築地ミカサビル8F